

# 新年明けましておめでとうございます

平素は格別のお引き立てをたまわり 誠にありがとうございます。  
皆様におかれましては、どのような新年の幕開けをお迎えでしょうか。

昨年はサブプライムローン問題を発端にした世界中の金融不安から、日本の経済も暗いニュースに溢れた1年でした。不動産・建築業界の不況と言われる中、少なくない数の同業会社が経営破綻に陥りました。

「経営で一番大切なことは『企業の継続』である」一改めて経営者として身を引き締め、自戒する機会となりました。多くの倒産企業が本業外の不動産などに手を出し破たんしたことを教訓に、今後も“本業にひたすら徹する！”を家訓として守り続ける所存でございます。

お陰さまで近代ホームグループ各社は、規模の躍進こそ”亀の歩み”ですが、この不況の中でも多くのお客様で打ち合わせ室が溢れるほどのご支持をいただいております。

特に昨年は、創業以来「百年健康住宅」を掲げてきた我が社にとって、国が「200年住宅（長期優良住宅）」の普及を本格的に推進し始めた記念すべき年となりました。港南台の小さな工務店が一命を賭して守ってきた草の根運動が、今やっと国家的事業として花開いたと思うと感慨無量です。

赤レンガの家、液体ガラス採用基礎 200 年の家、断熱耐火煉瓦の家…と進化を続け、現在『ハイブリッド 200 年住宅』を開発、全棟にこれを基本仕様とすることになりました。

- ・性能向上分の費用は価格据え置き。
- ・2009 年度の住宅ローン減税は過去最高の最大 600 万円（200 年住宅）。
- ・光熱費などのランニングコストや、メンテナンスコストの激減 など

上記のようなメリットを考慮すると、**今回の「200年住宅」は計算上ではただで家が建つことに！**  
こんなチャンスはまたとありません。

100年、いや「200年健康住宅」は、もはやこれからの日本の住宅のスタンダードとなることでしょう。

本年も、ECO、高気密・高断熱住宅のパイオニアとして、近代ホームグループ一同、日本の家づくりの先頭に立ち、変わらず「お客様と地球に優しい住環境づくり」を提案していきたいと思っております。

詳しくは弊社ホームページ、或いはご来場のうえご相談ください。

皆様にとりまして幸多き一年となりますようご祈念申し上げます。

2009年 元旦

近代ホームグループ 会長

松本 祐

